

外国語授業における教員と学生の発話分析

竹内 典彦 チャールズ マクラーティ 荒木 陽子
玉置 重俊 田中 英夫 梅津 真
飯嶋美知子 田中 里実 天野 尚樹
北海道情報大学

Discourse Analysis of Teacher and Student Talks in Language
Classrooms at Hokkaido Information University

Norihiko TAKEUCHI, Charles McLARTY, Yoko ARAKI
Shigetoshi TAMAKI, Hideo TANAKA, Shin UMETSU
Michiko IJIMA, Satomi TANAKA and Naoki AMANO
Hokkaido Information University

平成26年 3 月

北海道情報大学紀要 第25巻 第 2 号別刷

〈報 告〉

〈学内共同研究報告〉

外国語授業における教員と学生の発話分析

竹内 典彦¹⁾、チャールズ マクラーティ²⁾、荒木 陽子³⁾、
玉置 重俊⁴⁾、田中 英夫⁵⁾、梅津 真⁶⁾、飯嶋 美知子⁷⁾、
田中 里実⁸⁾、天野 尚樹⁹⁾

Discourse Analysis of Teacher and Student Talks in Language
Classrooms at Hokkaido Information University

Norihiko TAKEUCHI¹⁾, Charles McLarty²⁾, Yoko ARAKI³⁾, Shigetoshi TAMAKI⁴⁾, Hideo TANAKA⁵⁾,
Shin UMETSU⁶⁾, Michiko IJIMA⁷⁾, Satomi TANAKA⁸⁾, Naoki AMANO⁹⁾

- 1) 北海道情報大学経営情報学部先端経営学科教授, Professor, Department of Business and Information Systems, Faculty of Business Administration and Information Science, Hokkaido Information University
- 2) 北海道情報大学情報メディア学部情報メディア学科准教授, Associate Professor, Department of Information Media, Faculty of Information Media, Hokkaido Information University
- 3) 北海道情報大学医療情報学部医療情報学科講師, Lecturer, Department of Medical Management and Informatics, Faculty of Medical Informatics, Hokkaido Information University
- 4) 北海道情報大学経営情報学部システム情報学科教授, Professor, Department of Systems and Informatics, Faculty of Business Administration and Information Science, Hokkaido Information University
- 5) 北海道情報大学情報メディア学部情報メディア学科教授, Professor, Department of Information Media, Faculty of Information Media, Hokkaido Information University
- 6) 北海道情報大学経営情報学部システム情報学科教授, Professor, Department of Systems and Informatics, Faculty of Business Administration and Information Science, Hokkaido Information University
- 7) 北海道情報大学情報メディア学部情報メディア学科准教授, Associate Professor, Department of

Information Media, Faculty of Information Media, Hokkaido Information University

- 8) 北海道情報大学医療情報学部医療情報学科講師, Lecturer, Department of Medical Management and Informatics, Faculty of Medical Informatics, Hokkaido Information University
- 9) 北海道情報大学非常勤講師, Part-time Lecturer, Hokkaido Information University

【要 旨】

外国語科目の教員と学生にアンケートをとり、講義における、当該言語によるコミュニケーションに対する意識を調査し分析した。学生は、教員が外国語をある程度話すことを受け入れているが、理解を助けるために日本語で話すことも望んでいる。英語については、日本語と英語のバイリンガルの授業が当面望ましく、理解度に応じて、英語を増やしていくべきである。初修外国語に関しては、最初は日本語中心の授業でよく、習熟するにつれ、外国語の使用を増やすべきである。留学生の日本語の授業は、日本語中心の授業で特に問題ない。大事な点は、教員も学生も母国語に頼りすぎないことである。講義の音声データを分析し、その結果本学の外国語教員は、総じて外国語を話そうと努めていることがわかった。望ましいことであり、今後も継続すべきである。

【キーワード】 外国語教育、コミュニケーション、教師信条、動機づけ

0. はじめに

本学は、PCを中心とした情報技術とともに、国際性を持った技術者や実務者を育成することを使命とした大学である。その国際性を育むために、より高い外国語能力を養成しなければならない。ますますグローバル化が進む今日、学生のこの将来像は、確かな先見性を持つ。英語を中心として、中国語、ドイツ語、ロシア語、そして留学生においては日本語の習得が何よりも重要性を持つ。

1. 研究方法

教員と学生それぞれにアンケートをとり、講義における、当該言語によるコミュニケーションに対する意識を調査し分析した。また本研究に携わる教員は、ICレコーダーを講義に持参して、講義の音声データを録音した。

2. 結果

学生と教員に実施したアンケートについての結果である。学生アンケートの基本データだが、総数は515名で、内訳は中国語168名、ロシア語66名、ドイツ語33名であった。また英語は174名であり、日本語は30名であった。学生アンケートの内容は、参考資料を参照していただきたい。

Q1「教員は授業で当該言語を話して欲しい」の全体平均は5段階（「とてもそう思う」が5）の2.8で、初修外国語全体は2.6であり、英語が2.8、日本語が4.0であった。

Q2「教員は日本語（留学生の日本語授業では中国語）で説明してほしい」の全体平均は3.4で、初修外国語全体は3.5であり、英語が3.3であり、日本語が2.9であった。

Q3「教員が外国語を話すときは学生の理解度に注意している」の全体平均は3.4で、初修外国語全体は3.3であり、英語が3.5で

あり、日本語が3.9であった。

Q4「教員はできるだけ外国語を話そうとしている」の全体平均は3.6で、初修外国語全体は3.4であり、英語が4.0であり、日本語が3.8であった。

Q5「教員が外国語で話している内容を理解できる」の全体平均は3.0で、初修外国語全体は2.9であり、英語が2.9であり、日本語が3.9であった。

Q12「私（学生）はできるだけ外国語で話したい」の全体平均は3.1で、初修外国語全体は2.9であり、英語が3.2であり、日本語が3.9であった。

Q14「私（学生）は母国語で話したい」の全体平均は3.2で、初修外国語全体は3.2であり、英語が3.2であり、日本語が3.3であった。

Q21「私（学生）はこの言語を学ぶことが得意である」の全体平均は2.6で、初修外国語全体は2.5であり、英語が2.4であり、日本語が3.3であった。

Q25「外国語の授業ではコミュニケーション能力を身につけたい」の全体平均は3.3で、初修外国語全体は3.1であり、英語が3.5であり、日本語が3.9であった。

教員アンケートの基本データだが、総数は9名で、内訳は中国語2名、ロシア語1名、ドイツ語1名であった。また英語は3名であり、日本語は2名であった。教員アンケートの内容は参考資料を参照してほしい。

Q1「教員は授業でこの言語を話すべき」の全体平均は3.8で、初修外国語全体は2.5であり、英語が4.7であり、日本語が5であった。

Q2「教員は授業で母国語を話すべき」の全体平均は3.3で、初修外国語全体は4.3であり、また英語が2.3であり、日本語が3であった。

Q3「教員がこの言語を話すときは学生の理解度に注意している」の全体平均は4.4で、初修外国語全体は4.3であり、英語が4.3で

あり、日本語が5であった。

Q4「教員は授業中この言語を話そうとしている」の全体平均は4.3で、初修外国語全体は3.8であり、英語が4.7であり、日本語が5であった。

Q5「教員がこの言語を話しているとき学生は理解できる」の全体平均は3.6で、初修外国語全体は3.3であり、英語が3.7であり、日本語が4であった。

Q12「学生はこの言語を話したい」の全体平均は3.8で、初修外国語全体は4であり、英語が3.3であり、日本語が4であった。

Q14「学生は母国語を話したい」の全体平均は3.8で、初修外国語全体は4であり、英語が3.3であり、日本語が4であった。

Q21「学生はこの言語を学ぶのが得意である」の全体平均は3で、初修外国語全体は2.5であり、英語が3.3であり、日本語が3.5であった。

Q25「外国語の授業では学生にコミュニケーション能力を身につけさせたい」の全体平均は4.4で、初修外国語全体は4であり、英語が4.7であり、日本語が5であった。

3. 考察

学生アンケートから言えることは、学生は、初修外国語と英語に関しては、教員が当該外国語を話すことをそれほど望んでいないということである。初修外国語は初めて習うのだから仕方ない面もあるが、英語についても望んでいないのは意外だし、残念である。もっとも初修外国語よりは0.2ポイント高い。留学生対象の日本語については教員が日本語を話すことを望んでいる。また、学生は、初修外国語の授業で、日本語の説明を望んでいる。英語は0.2ポイント低い、やはり日本語での説明を望む声が強。教員が当該言語を話すときは、学生の理解度に注意していることがわかる。また英語の教員はできるだけ英語を話そうとしているし、日本語の教員は常に

日本語で授業をしていることがわかる。さらに初修外国語の教員も、ある場面ではその言語を話そうとしている。また学生は、教員がその言語を話しているとき、理解できないことがあることがわかる。また学生は、初修外国語の場合はそれほどでないが、英語の場合は、授業中英語で話したい。次に学生は初修外国語と英語に対して苦手意識を持っている。また学生は、それぞれの外国語のコミュニケーション能力を習得したいという意識を持っていることがわかる。

次に教員アンケートから言えることは、初修外国語の教員は、その言語を授業中に話す妥当性をあまり感じていない一方で、英語と日本語の教員はその妥当性を強く感じている。また初修外国語の教員は日本語を使って説明すべきであると考えている。一方で、英語の教員は日本語を使用することを避けようと考えている。またどの教員も当該言語を話すときは学生の理解度に注意していることがわかる。ただし、学生は必ずしも理解度が高いとは言えない。次に英語と日本語の教員はその言語を話そうとしているが、初修外国語はそうでもない。そして教員はその言語を話そうと努めているが、学生の理解はそれほど高くないと考えている。次に学生が授業中話したい言語であるが、初修外国語よりも英語の方が低く、学生が授業中英語をそれほど話したいと思っていないことがわかる。それから、学生は授業で母国語を話したいと教員は考えている。また、初修外国語の教員は、学生はその言語の習得が苦手であると感じている。また、どの教員も学生が当該言語のコミュニケーション能力を習得してほしいと考えている。

音声データの分析では初修外国語の教員は日本語の使用が中心で、英語ではネイティブの教員や一部の教員は英語中心であったが、日本語が中心の教員もいた。日本語では日本

語が授業の中心となる言語であることが観察された。

4. 結論

これらのことから、学生は、教員が外国語をある程度話すことを受け入れているが、理解を助けるために日本語で話すことも望んでいることがわかる。英語について言えば、日本語と英語のバイリンガルの授業が当面望ましく、学生の理解度に応じて、英語を増やしていくべきである。初修外国語に関しては、最初は日本語中心の授業でよく、習熟するにつれて、外国語の使用を増やすべきである。留学生の日本語の授業は、日本語中心の授業で特に問題はないと考えられる。どの授業でも言えることだが、注意すべきは、母国語に頼りすぎないことである。教員が母国語を話せば、学生の語学習得（特にコミュニケーション能力）は向上しない。しかしながら、本研究によって本学の外国語教員は、総じて外国語を話そうとしていることがわかった。これは望ましいことであり、今後も継続すべきである。今後あるべき姿として、本学の学生はグローバル人材になるために、最低限の英語コミュニケーション能力を身につけ、さらに初修外国語の基礎的な知識と基本的日常会話を習得すべきである。つまり、ヨーロッパの教育政策で言われている「複言語主義」の立場で、複数の言語を身につけて、グローバル社会における有為な人材となるように、学生を導くべきである。

5. おわりに

今後はこの研究の結果を基にして、情報交換や討論により教員間の共通認識を深め、本学におけるより望ましい外国語教育を追求する所存である。

謝辞

本報告は2012年度学内共同研究をまとめたものである。研究にご協力をいただいた関係教職員と学生諸君にこの場をお借りして深謝したい。

参考資料

学生用アンケート

*本アンケートは、北海道情報大学の学内共同研究である、「外国語授業における教員と学生の発話分析」の研究資料とさせていただきます。ご協力に感謝します。

質問の後の番号を選んでください

5— とてもそう思う 4— そう思う

3— どちらとも言えない

2— あまり思わない 1— 全く思わない

外国語授業における教員の発話について

Q1.先生は授業中、できるだけこの言語（授業で学習する言語）を話して欲しい。

1 2 3 4 5

Q2.先生は授業中、できるだけ日本語（留学生の授業では中国語）を使って説明して欲しい。

1 2 3 4 5

Q3.先生が授業中この言語を話すときは、学生の理解度に注意している。

1 2 3 4 5

Q4.先生は授業中、できるだけこの言語を話そうとしている。

1 2 3 4 5

Q5.先生が授業中この言語を話すとき、先生の話している内容を理解できる。

1 2 3 4 5

Q6.先生が授業中この言語を話すとき、授業が好きになる。

1 2 3 4 5

Q7.先生が授業中この言語を話すとき、この言語が好きになる。

1 2 3 4 5

Q8.先生が授業中この言語を話すとき、自分にとって役立つ。

1 2 3 4 5

Q9.先生が授業中この言語を話すとき、授業に集中できる。

1 2 3 4 5

Q10.先生が授業中この言語を話すときは、先生の熱心さが伝わってくる。

1 2 3 4 5

Q11.先生は授業中、学生にこの言語を話す機会を設けている。

1 2 3 4 5

外国語授業における学生の発話について

Q12.私は授業中、できるだけこの言語（授業で学習する言語）を話したい。

1 2 3 4 5

Q13.私は授業中、できるだけこの言語を話そうと努力している。

1 2 3 4 5

Q14.私は授業中、できるだけ日本語（留学生の授業では中国語）で話したり、質問をしたい。

1 2 3 4 5

Q15.私は授業中この言語を話すとき、授業が好きになる。

1 2 3 4 5

Q16.私は授業中この言語を話すとき、この

言語が好きになる。

1 2 3 4 5

Q17.私が授業中この言語を話すと、自分にとって役立つ。

1 2 3 4 5

Q18.私は授業中この言語を話すと、授業に集中できる。

1 2 3 4 5

Q19.私は授業中この言語を話すと、だんだん自信がついてくる。

1 2 3 4 5

Q20.私は授業中、この言語でよく発言や発表をする。

1 2 3 4 5

一般的質問

Q21.私はこの言語を学ぶことが得意である。

1 2 3 4 5

Q22.私はこの言語の能力に不安がある。

1 2 3 4 5

Q23.私はいつかこの授業の言語を話せるようになると思っている。

1 2 3 4 5

Q24.私はこの言語の検定試験を受けてみたい。

1 2 3 4 5

Q25.外国語の授業では、コミュニケーション能力を身につけたい。

1 2 3 4 5

Q26.外国語の授業では、文字表記を身に

つけたい。

1 2 3 4 5

Q27.外国語の授業では、発音を身につけたい。

1 2 3 4 5

Q28.外国語の授業では語彙力を身につけたい。

1 2 3 4 5

Q29.外国語の授業では、文法を身につけたい。

1 2 3 4 5

Q30.外国語の授業では、読解力を身につけたい。

1 2 3 4 5

Q31.外国語の授業では、文章力(作文力)を身につけたい。

1 2 3 4 5

Q32.外国語の授業では、その国の文化や風習を学びたい。

1 2 3 4 5

アンケートを通して何か意見や感想があれば記入してください

()

*ご協力有難うございました
教員用アンケート

*本アンケートは、北海道情報大学の学内共同研究である、「外国語授業における教員と学生の発話分析」の研究資料とさせていただきます。ご協力に感謝します。

お名前 () *
報告・紀要掲載ではお名前は伏せます

質問の後の番号を選んでください

- 5— とてもそう思う 4— そう思う
3— どちらとも言えない
2— あまり思わない 1— 全く思わ
ない

外国語授業における教員の発話について

Q1.私（教員 以下同）は授業中、できる
だけこの言語（授業で学習する言語）を話
すべきでる。

- 1 2 3 4 5

Q2.私は授業中、できるだけ日本語（留学
生の授業では中国語）を使って説明すべ
きである。

- 1 2 3 4 5

Q3.私が授業中この言語を話すとき、学生
の理解度に注意している。

- 1 2 3 4 5

Q4.私は授業中、できるだけこの言語を話
そうとしている。

- 1 2 3 4 5

Q5.私が授業中この言語を話すとき、学生
は話している内容を理解できる。

- 1 2 3 4 5

Q6.私が授業中この言語を話すとき、学生は
授業が好きになる。

- 1 2 3 4 5

Q7.私が授業中この言語を話すとき、学生は
この言語が好きになる。

- 1 2 3 4 5

Q8.私が授業中この言語を話すとき、学生に
とって役立つ。

- 1 2 3 4 5

Q9.私が授業中この言語を話すとき、学生は
授業に集中できる。

- 1 2 3 4 5

Q10.私が授業中この言語を話すとき、教員
の熱心さが伝わる。

- 1 2 3 4 5

Q11.私は授業中、学生にこの言語を話す
機会を設けている。

- 1 2 3 4 5

外国語授業における学生の発話について

Q12.学生は授業中、できるだけこの言語
（授業で学習する言語）を話したい。

- 1 2 3 4 5

Q13.学生は授業中、できるだけこの言語
を話そうと努力している。

- 1 2 3 4 5

Q14.学生は授業中、できるだけ日本語（留
学生の授業では中国語）で話したり、質問
をしたい。

- 1 2 3 4 5

Q15.学生は、授業中この言語を話すとき、
授業が好きになる。

- 1 2 3 4 5

Q16.学生は、授業中この言語を話すとき、
この言語が好きになる。

- 1 2 3 4 5

Q17.学生は、授業中この言語を話すとき、
学生にとって役立つ。

- 1 2 3 4 5

Q18.学生は、授業中この言語を話すとき、

授業に集中できる。

1 2 3 4 5

Q19.学生は、授業中この言語を話すと、
だんだん自信がついてくる。

1 2 3 4 5

Q20.学生は、授業中この言語でよく発言
や発表をする。

1 2 3 4 5

一般的質問

Q21.学生はこの言語を学ぶことが得意で
ある。

1 2 3 4 5

Q22.学生はこの言語の能力に不安がある。

1 2 3 4 5

Q23.学生はいつかこの授業の言語を話せ
るようになる。

1 2 3 4 5

Q24.学生にはこの言語の検定試験を受け
てほしい。

1 2 3 4 5

Q25.学生は、外国語の授業では、コミュ
ニケーション能力を習得してほしい。

1 2 3 4 5

Q26.学生は、外国語の授業では、文字表
記を習得してほしい。

1 2 3 4 5

Q27.学生は、外国語の授業では、発音を
習得してほしい。

1 2 3 4 5

Q28.学生は、外国語の授業では、語彙力

を習得してほしい。

1 2 3 4 5

Q29.学生は、外国語の授業では、文法を
習得してほしい。

1 2 3 4 5

Q30.学生は、外国語の授業では、読解力
を習得してほしい。

1 2 3 4 5

Q31.学生は、外国語の授業では、文章力
(作文力)を習得してほしい。

1 2 3 4 5

Q32.学生は、外国語の授業では、その国
の文化や風習を学んでほしい。

1 2 3 4 5

アンケートを通して何か意見や感想があ
れば記入してください

(

)

*ご協力有難うございました